

令和5年度始良・伊佐地区研究協力校「道德教育」
霧島市立溝辺中学校道德教育研修会

1 研究主題

(1) 地区研究主題

「考え、議論する道德」に向けた授業の在り方

(2) 会場校研究テーマ

自己の変容を見つめ、他者とのかかわりを大切にする生徒の育成
～主体的に考えを伝え合う活動の工夫を通して～

2 研究発表

霧島市立溝辺中学校は、令和4年度から2年間にわたり、地区指定研究協力校として、研究・実践に取り組んできました。

研究発表では、主体的に考えを伝え合う活動の工夫として、話し合いにおけるスタイルの工夫や司会カードの導入と活用について紹介されました。また、道德的価値に迫る発問づくり、アサーションの考え方に基づく相互理解の促進のための取組についても紹介されました。

3 公開授業

2年生と3年生の二学年で研究授業を行いました。

2年生では、井上俊寛教諭が「心でいただく伝統の味」という教材を用いて授業を行いました。日本文化の良さについて、自分の考えをもたせた後に、グループでの話し合い活動を通して、自分の考えを深めさせていました。また、自分の考えや気持ちを表現させるために、心情グラフを活用し、自分の立場から日本の伝統や文化の継承について考えさせていました。

3年生では、鶴田雅美教諭が「ライバルどうしの友情ースピードスケート小平奈緒と李相花」という教材を用いて授業を行いました。

「友情」とはどういうものかを考えさせるために、事前アンケートの結果を活用してグループで意見交換を行い、「深い友情」には何が必要かを生徒が互いに考え、議論する時間を設定していました

また、実際の自分の友達関係に置き換えて、「深い友情とは何か。」を考えさせ、今後のよりよい人間関係づくりについて考えさせるとともに、振り返りのアンケートにもまとめさせ、事前アンケートで回答させていた友情観との比較を行っていました。



【2年生の授業の様子】



【3年生の授業の様子】

4 分科会

分科会では、2年生と3年生に分かれ、授業研究・研究協議を行いました。

授業研究では、会場校研究テーマに沿って、「充実した対話活動を通して、生徒たちは自らの考えを深められているか。」という視点から、授業で見取った生徒の様子を基に意見交換を行いました。研究協議では、地区の研究主題である『「考え、議論する道徳」に向けた授業の在り方」をテーマに、各学校の取組や授業における工夫等について、グループで意見交換を行いました。



【グループ協議の様子】

授業研究・研究協議で出された意見の主な内容は、以下のとおりです。

【2年生分科会】

- 仲間の意見を聞きつつ、自分の意見も伝え、周囲を納得させる姿が見られた。生徒も共感しながら互いに意見を伝え合っていた。また、グループ学習からパネル学習になって、視野の広がりが出て良かった。
- 話合いの目的が明確でないグループがあった。各々が考えを伝える際に理由や根拠がないグループや、意見や考えは出し合っていたが、理由や根拠となると自信がないのか声が小さくなるグループがあった。

【3年生分科会】

- どの生徒も自分が書いたことを再考して意見を述べることができている。自分の考えを書き終わると、すぐに隣や後ろの生徒と話合いが自然に始まる姿が見られた。グループの交流の中で、お互いに尊重し合いながら自分の意見を深くまとめられていた。
- 話合いで深められていた意見が、ボードではうまく書き表せていなかった。よい話合いができているので、その内容を全体でどのように共有していくかが課題だと思った。また、相手の意見を聞いた後に質問や反論ができることよい。

溝辺中学校の特徴的な取組

1 学年部職員全員による道徳の授業への参加

- (1) 授業者1人＋授業参観
- (2) TT形式の授業

2 学年部内で授業を分担

- (1) 学年部2人→担任：副担任＝2：1
- (2) 学年部3人→担任：副担任：副担任＝2：1：1

3 クロスオーバー授業の実施

他学年への乗り入れ授業

(例) 1年部→2年, 2年部→3年, 3年部→1年

担任だけでなく、全職員で全校生徒の道徳の授業に取り組んでいる。また、授業後に意見交換、助言を行い、授業の改善を図っている。